

令和8年度 大学院博士前期課程一般（第2期） 入学試験問題・解答用紙

受 験 番 号	フリ 氏 名	試 験 科 目
		経 済 学

採 点	
--------	--

必答問題1から必答問題6は四択の問題です。最も適切なものを一つだけ選び、選択肢番号に○をつけなさい。

次に、選択問題7と選択問題8のうちから1題を選択して解答しなさい。

必答問題1

ある財が完全競争市場で取引されているとする。この財の昨年の逆需要関数は $p = 50 - q$ で逆供給関数は $p = 10 + q$ だった。また今年の逆供給関数は昨年と同じであるが逆需要関数は $p = 60 - q$ と変化した。このとき、昨年と比べて今年の生産者余剰はどのくらい増加したか。

1. 100
2. 112.5
3. 125
4. 150

必答問題2

有限ゲームの混合戦略ナッシュ均衡において、均衡で正の確率が割り当てられる純粋戦略はどのような条件を満たすか。

1. 利得が最大になっている。
2. 相手の戦略に対して無差別になっている。
3. 支配されていない戦略である。
4. 常に弱支配戦略になっている。

必答問題3

発電部門・送配電部門・小売部門からなる電力市場について考える。発電部門および小売部門には多数の企業が参入可能であり、各企業の限界費用は一定であるとする。一方、送配電部門は大規模な固定費を伴う送電網を必要とするため、自然独占であるとする。このとき、電力市場を自由化する政策の効果として、ミクロ経済学的な観点から最も適切な記述を1つ選びなさい。

1. 発電部門を自由化すると、送配電部門においても競争が生じ、送配電価格は限界費用まで低下する。
2. 発電部門を自由化すると、発電価格は限界費用に近づくが、送配電部門については自然独占であるため価格規制が必要である。
3. 電力市場は自然独占であるため、発電部門を含めていかなる自由化も社会的厚生を必ず低下させる。
4. 発電部門と送配電部門を分離すると、送配電部門において固定費の回収が不可能となり、社会的余剰は必ず減少する。

（裏面に続く）

必答問題4

ある個人の消費が恒常所得仮説に基づくとき、消費関数と恒常所得が以下のように定義されるものとする。

$$\text{消費関数: } C_t = 0.6Y_t^P$$

$$\text{恒常所得: } Y_t^P = 0.5Y_t + 0.3Y_{t-1} + 0.2Y_{t-2}$$

ここで、 C_t を t 年における消費、 Y_t^P は t 年の恒常所得、また Y_t 、 Y_{t-1} 、 Y_{t-2} はそれぞれ t 年、 $t-1$ 年、および $t-2$ 年の所得とする。
2020年の所得が600万円、2019年の所得が400万円、2018年の所得が500万円であるとき、2020年における貯蓄額はいくらになるか。
以下の選択肢から最も適切なものを選びなさい。

1. 120万円
2. 288万円
3. 312万円
4. 480万円

必答問題5

小国開放経済のマンデルフレミングモデルを考える。資本移動が完全に自由である変動相場制下で、金融緩和政策を行った場合の効果について、以下の選択肢から誤っているものを選びなさい。

1. 自国通貨が増価する。
2. 純輸出が増加する。
3. 国民所得に対して正の効果を持つ。
4. 資本流出が起きる。

必答問題6

名目金利が2%、物価上昇率の期待値が3%のとき、フィッシャー方程式に基づく実質金利はいくらになるか。以下の選択肢から最も適切なものを選びなさい。

1. -5%
2. -1%
3. 1%
4. 5%

(2枚目に続く)

選択問題7と選択問題8のうち1題のみを選択して800文字程度で解答しなさい。

記述解答欄は次ページにあります。

選択問題7

ある社会では、複数の公共プロジェクトの実施について、それぞれ賛否を問う投票が行われるとする。各有権者は、すべてのプロジェクトを通じて合計で例えば100ポイントまで使用することができ、各プロジェクトについて賛成票または反対票を複数投じることができる。

ここで、あるプロジェクトに対して賛成または反対の票を k 票投じるためには、 k^2 ポイントを消費する。このような投票方式をクアドラティック・ボートイング (Quadratic Voting) と呼ぶ。

- (1) 仮に票を k 票投じるための必要ポイントが k に比例して増加するとした場合 (すなわちコストが線形である場合)、クアドラティック・ボートイングと比べて投票行動や結果にどのような違いが生じると考えられるかを説明しなさい。
- (2) クアドラティック・ボートイングを 現実の政策決定に導入する際に生じうる問題点を2つ挙げ、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

選択問題8

短期フィリップス曲線が以下のように定義されるものとする。

$$\pi = \pi^e + 0.5(u - u^*)$$

ただし、 π はインフレ率、 π^e は期待インフレ率、 u は失業率、 u^* は自然失業率とする。以下の設問(1)と(2)について答えなさい。ただし、導出過程を含め、詳しく記述すること。

- (1) 長期フィリップス曲線を導出しなさい。
- (2) 中央銀行の損失関数が以下のように定義される。

$$L = 2(\pi^2 + u^2)$$

中央銀行は短期の視点で (短期フィリップス曲線を制約条件として)、インフレ率を決めるとき、この値を期待インフレ率 π^e と自然失業率 u^* の関数として導出しなさい。ただし、当期の π^e (期待インフレ率) は期初に決まっており、所与とする。

(裏面に続く)

選択した問題の番号を記しなさい。

☐

--

以 上